



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 株式会社カプコン 上場取引所 東  
 コード番号 9697 URL <http://www.capcom.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)辻本 春弘  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員 (氏名)野村 謙吉 (TEL) 06(6920)3605  
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月28日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,746	7.5	784	—	772	—	521	—
29年3月期第1四半期	10,927	△24.9	△726	—	△2,080	—	△1,411	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 928百万円(—%) 29年3月期第1四半期△3,590百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	9 53	—
29年3月期第1四半期	△25 11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	107,763	77,333	71.8
29年3月期	118,897	77,774	65.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 77,333百万円 29年3月期 77,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25 00	—	25 00	50 00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	25 00	—	25 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	6.7	14,500	6.2	14,000	11.2	9,500	7.0	173 53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	67,723,244株	29年3月期	67,723,244株	
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	12,977,139株	29年3月期	12,977,009株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	54,746,233株	29年3月期1Q	56,228,040株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における当業界は、家庭用ゲーム機「プレイステーション4」の普及拡大や新型ゲーム機「ニンテンドースイッチ」が好調に推移したほか、家庭用ゲームソフトも回復基調を示すなど、家庭用ゲーム市場は総じて復調の兆しが見えてまいりました。

また、米国で開催された世界最大級のゲーム見本市「E3」において、当期の目玉タイトルであるシリーズ最新作「モンスターハンター:ワールド」(プレイステーション4、Xbox One、パソコン用)が来場者の注目を集めるなど、下期の発売に向けて期待を抱かせました。

こうした状況下、当社は収益の改善を図るため、売上原価の低減や販売費および一般管理費の抑制など、経費の圧縮に努めてまいりました。

また、モバイルコンテンツの局面打開を図るため、組織再編やマネジメント体制の強化などに取り組んでまいりました。加えて、当社のゲームを題材にしたフルCG長編アニメーション映画「バイオハザード:ヴェンデッタ」が今年の5月に公開されるなど、人気コンテンツとのシナジー展開を推し進めてまいりました。

この結果、当第1四半期は下期からの本格的な攻勢を控えた助走期間となりましたものの、売上高117億46百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益7億84百万円(前年同期は営業損失7億26百万円)、経常利益7億72百万円(前年同期は経常損失20億80百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億21百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失14億11百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① デジタルコンテンツ事業

当事業におきましては、有力タイトルの投入が端境期となりましたが、今年5月発売の「ウルトラストリートファイターII」(ニンテンドースイッチ用)が順調な出足によりスマッシュヒットを放ったほか、前期発売の「バイオハザード7 レジデント イービル」(プレイステーション4、Xbox One、パソコン用)や「モンスターハンターダブルクロス」(ニンテンドー3DSシリーズ用)も収益向上に一定の寄与を果しました。

この結果、売上高は76億88百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益16億76百万円(前年同期は営業利益8百万円)となりました。

#### ② アミューズメント施設事業

当事業におきましては、多様な顧客ニーズに対応したゲーム機の設置や各種イベントの開催、サービスデーの実施など、ユーザー志向に立った施設展開により、新規顧客の取り込みやリピーターの確保に取り組むとともに、店舗運営コストの削減等による収益展開を図ってまいりました。

新規出店といたしましては、中部圏での地盤を強化するため、愛知県に1店舗オープンしましたので、施設数は37店舗となっております。

この結果、売上高は22億45百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益1億28百万円(前年同期比18.8%増)となりました。

#### ③ アミューズメント機器事業

パチスロ機部門は、市場環境がまだら模様の中、「逆転裁判」を投入いたしました。

また、業務用機器部門につきましては、既存商品のレポート販売に努めましたが、全体として軟調に推移いたしました。

この結果、売上高は13億96百万円(前年同期比16.0%減)、営業損失2億29百万円(前年同期は営業損失61百万円)となりました。

#### ④ その他事業

その他事業につきましては、主なものはライセンス許諾によるロイヤリティ収入やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は4億15百万円(前年同期比13.2%増)、営業利益1億84百万円(前年同期比46.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ111億34百万円減少し1,077億63百万円となりました。主な増加は、「ゲームソフト仕掛品」44億80百万円であり、主な減少は、「受取手形及び売掛金」154億36百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ106億93百万円減少し304億29百万円となりました。主な減少は、「短期借入金」50億円、「電子記録債務」35億32百万円、「未払法人税等」10億36百万円および「賞与引当金」10億23百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億40百万円減少し773億33百万円となりました。主な増加は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」5億21百万円および「為替換算調整勘定（海外連結子会社等の純資産の為替換算に係るもの）」の変動3億36百万円であり、主な減少は、「剰余金の配当」13億68百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月27日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,537	24,236
受取手形及び売掛金	20,175	4,738
商品及び製品	1,583	1,415
仕掛品	2,040	2,596
原材料及び貯蔵品	2,040	1,863
ゲームソフト仕掛品	30,150	34,631
その他	4,973	5,324
貸倒引当金	△21	△8
流動資産合計	85,480	74,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,004	11,382
その他(純額)	9,763	9,579
有形固定資産合計	20,768	20,961
無形固定資産		
投資その他の資産	2,843	2,374
その他	9,877	9,701
貸倒引当金	△72	△72
投資その他の資産合計	9,804	9,628
固定資産合計	33,417	32,965
資産合計	118,897	107,763
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,288	1,835
電子記録債務	4,886	1,354
短期借入金	9,323	4,323
未払法人税等	1,580	543
賞与引当金	2,263	1,239
その他	9,651	9,806
流動負債合計	29,994	19,103
固定負債		
長期借入金	6,788	6,627
退職給付に係る負債	2,596	2,653
その他	1,743	2,045
固定負債合計	11,128	11,325
負債合計	41,122	30,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,328	21,328
利益剰余金	45,402	44,555
自己株式	△21,448	△21,449
株主資本合計	78,521	77,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107	170
為替換算調整勘定	△541	△204
退職給付に係る調整累計額	△313	△305
その他の包括利益累計額合計	△747	△340
純資産合計	77,774	77,333
負債純資産合計	118,897	107,763

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,927	11,746
売上原価	8,238	7,354
売上総利益	2,688	4,391
販売費及び一般管理費	3,415	3,607
営業利益又は営業損失(△)	△726	784
営業外収益		
受取利息	11	13
受取配当金	7	7
為替差益	—	9
その他	10	14
営業外収益合計	29	45
営業外費用		
支払利息	33	27
支払手数料	14	15
和解金	—	13
為替差損	1,335	—
その他	0	0
営業外費用合計	1,383	56
経常利益又は経常損失(△)	△2,080	772
特別損失		
固定資産除売却損	1	28
特別損失合計	1	28
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,081	744
法人税、住民税及び事業税	111	340
法人税等調整額	△781	△116
法人税等合計	△669	223
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,411	521
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,411	521



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,411	521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	62
為替換算調整勘定	△2,133	336
退職給付に係る調整額	16	7
その他の包括利益合計	△2,178	406
四半期包括利益	△3,590	928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,590	928
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,081	744
減価償却費	1,421	1,145
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△13
賞与引当金の増減額(△は減少)	△861	△1,025
受取利息及び受取配当金	△18	△19
支払利息	33	27
為替差損益(△は益)	655	△16
固定資産除売却損益(△は益)	1	28
売上債権の増減額(△は増加)	2,906	15,454
たな卸資産の増減額(△は増加)	△357	△208
ゲームソフト仕掛品の増減額(△は増加)	△3,025	△4,495
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,813	△3,997
その他	1,412	159
小計	△1,730	7,782
利息及び配当金の受取額	18	19
利息の支払額	△18	△14
法人税等の支払額	△6,053	△1,034
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,783	6,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△416	△761
有形固定資産の売却による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△23	△31
その他	△21	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△461	△794
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,500	△5,000
長期借入金の返済による支出	△166	△160
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,429	△1,369
その他	△130	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,772	△6,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,187	411
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	340	△301
現金及び現金同等物の期首残高	28,429	24,337
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,770	24,036

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,740	2,157	1,662	10,560	366	10,927	—	10,927
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,740	2,157	1,662	10,560	366	10,927	—	10,927
セグメント損益	8	107	△61	55	126	181	△908	△726

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△908百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△908百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	デジタル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,688	2,245	1,396	11,330	415	11,746	—	11,746
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,688	2,245	1,396	11,330	415	11,746	—	11,746
セグメント損益	1,676	128	△229	1,574	184	1,759	△974	784

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△974百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△974百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。